

みんなで探そう！



コムクドリ渡りプロジェクト 2026

大泉龍太郎(北海道大学 大学院理学院 博士後期課程1年)

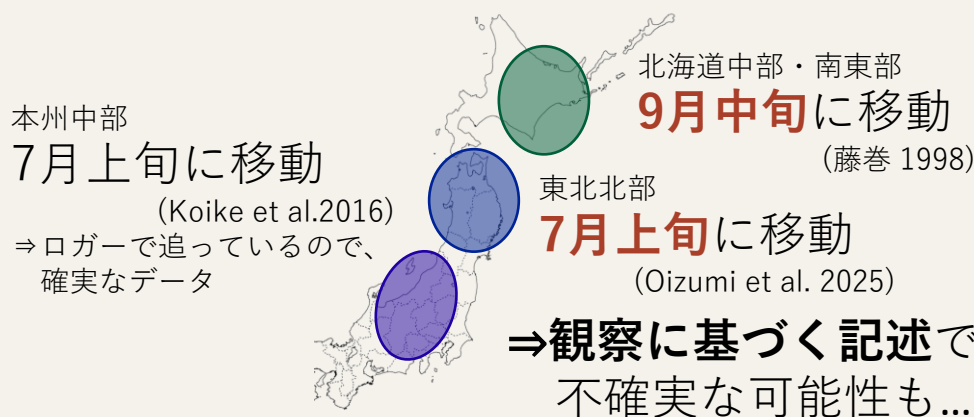
本研究で明らかにしたいこと

- ・北海道及び東北地方で繁殖するコムクドリの
秋の移動開始時期と**渡りルート**及び**越冬地**の解明

これまでの研究で分かっていること

コムクドリにロガーを付けて**渡りを追跡した結果、**
本州中部において、多くの個体が7月上旬に移動をしていた！
(Koike et al. 2016)

→これまでは**9月頃まで留まる**と言われてきたが(小池 1988)、**誤りだった！**



本当にこの時期に
渡っているのかな...？



GPSを装着して、渡りを追いたい...

でもデータ収集には再捕獲が必須。翌年まで待てない...！

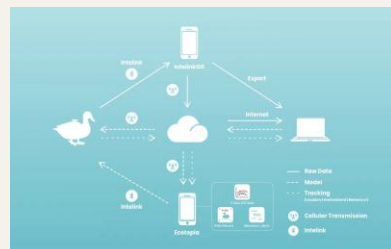
⇒**全国にいる皆さんと一緒にデータを収集しよう！**

本研究でやりたいこと

Druid 社製GPSをコムクドリに装着

→**スマホアプリ**でBluetoothを用いて

データを収集・共有できる！



Druid 社ホームページより

情報を随時共有することで
みんなでコムクドリの渡りを追いかけよう！

具体的な調査手法について

調査地

- ・北海道大学(札幌市)及び岩手大学(盛岡市)の構内

調査方法

- ・2026年4月上旬に両大学構内に**巣箱を30個ずつ設置**する
→コムクドリが渡ってくるのが4月中旬以降のため、経験上この時期に設置が妥当
- ・5月上旬から中旬の間にかすみ網でコムクドリを捕獲し、
平均体重の4%未満の重さである**GPS(DEBUT ULTRA, Druid)**を装着する

※本研究支援で得られる資金が少ない場合、平均体重の2%未満のジオロケーターに切り替えて研究を遂行する

追跡方法とデータ公開について

- ・Druid社のソフト及びアプリを使用する
- ・**6月下旬までは営巣場所付近を行動するため、調査者が定期的にデータを収集しておく**
- ・**7月以降は繁殖場所を離れるため、調査者以外に全国の観察者にアプリを通じて情報を寄せていただく**
- ・**専用ホームページを立ち上げて、いただいた情報を随時公開していく**

※ジオロケーターの場合は再捕獲するまでデータを収集できないので、来年度に論文や調査報告書の形で結果を公表する

僕を探して...!



Druid社のアプリについて

- ・IntelinkGOというアプリを使用してデータを収集する
→数百m程度まで近づくと、アプリにGPSが表示され、Bluetoothを用いてデータ収集ができる
- ・収集されたデータはクラウドを介して研究者に共有される(詳細は右のQRコード先を参照ください)



IntelinkGOについて ダウンロードはこちらから

本研究の意義について

- ・北海道、北東北地方及び本州中部の個体群は、これまでの研究によって渡りの時期だけでなく、**生息環境も若干異なる**ことが知られている
(Austin & Kuroda 1953, 藤巻 1998, Koike et al. 2016, Oizumi et al. 2025)
以上より私は、これらが**遺伝的に別個体群なのではないか**と考えている
- ・今後外部計測値や遺伝解析も行う予定だが、同時並行で渡りの時期及びルートを追うことで、**遺伝的差異と渡りの関係を明らかに**することができる
- ・コムクドリといった小鳥にGPSを載せる試みは非常に限られているため、本研究は今後の**小鳥GPS研究の礎となる**ことが期待される
- ・本研究は研究者以外の全国の鳥好きにご協力をいただいて、データを収集することを基本としている
市民科学の発展に貢献するとともに、鳥類研究を身近なものにすることで多くの人に**鳥類研究や基礎研究の重要性を伝える**きっかけとなる

研究の実現可能性

- ・私はこれまで3年間盛岡市でコムクドリについて研究を続けてきており、生態に関する知識は十分に持ち合わせるとともに、盛岡市での調査を遂行する人員の確保が可能である
- ・私が所属する北海道大学野外鳥類学研究室は、鳥類の安全な捕獲並びにGPSの装着技術を持っており、本研究を安全に遂行することが可能である

**研究資金はコムクドリに装着するGPSの購入に充てます！
ご支援をお願いいたします！！**